

みずほCustomer Desk Report 2018/02/16 号 (As of 2018/02/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.82
TKY 9:00AM	106.56	1.2468	132.91	1.4015	0.7929
SYD-NY High	107.02	1.2510	133.25	1.4105	0.7967
SYD-NY Low	106.03	1.2449	132.53	1.4000	0.7892
NY 5:00 PM	106.11	1.2506	132.76	1.4100	0.7946
NY DOW	25,200.37	306.88	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	7,256.43	112.82	日本10年債	0.0600	0.00bp
S&P	2,731.20	32.57	米国2年債	2.1865	1.67bp
日経平均	21,464.98	310.81	米国5年債	2.6466	0.53bp
TOPIX	1,719.27	16.55	米国10年債	2.9049	▲0.73bp
シゴ日経先物	21,500	▲25.00	独10年債	0.7625	0.60bp
ロンドンFT	7,234.81	20.84	英10年債	1.6470	0.80bp
DAX	12,346.17	7.01	豪10年債	2.9035	8.05bp
ハンセン指数	31,115.43	599.83	USDJPY 1M Vol	10.25	0.55%
上海総合	#N/A	#N/A	USDJPY 3M Vol	9.65	0.29%
NY金	1,355.30	▲2.70	USDJPY 6M Vol	9.53	0.17%
WTI	61.34	0.74	USDJPY 1M 25RR	-1.88	Yen Call Over
CRB指数	193.46	1.07	EURJPY 3M Vol	10.02	▲0.16%
ドルインデックス	88.59	▲0.53	EURJPY 6M Vol	9.93	▲0.27%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月15日	9:30	豪 雇用者数変化	1月 16.0K	15.0K
	22:30	米 PPI(前月比/前年比)	1月 0.4%/2.7%	0.4%/2.4%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 230K	228K
	22:30	米 ニューヨーク連銀製造業景況指数	2月 13.1	18.0
	22:30	米 フィラデルフィア連銀製造業指数	2月 25.8	21.6
	23:15	米 鉱工業生産(前月比)	1月 -0.1%	0.2%

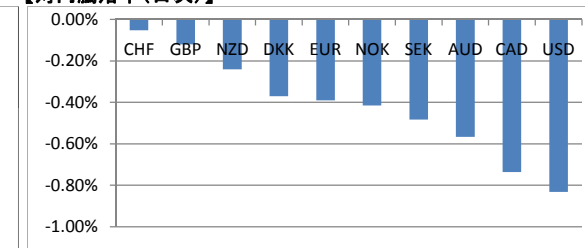
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月16日	18:30	英 小売売上高・除く自動車燃料(前月比/前年比)	1月 0.6%/2.4%	-1.6%/1.3%
	22:30	米 住宅着工/建設許可件数	1月 1234K/1300K	1192K/1300K
2月17日	0:00	米 ミシガン大学消費者信頼感指数・速報	2月 95.4	95.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.50-107.00	1.2400-1.2550	132.00-133.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間は、米株の動きを睨みながら106円台半ばで方向感なく推移していたが、DACA合意取り下げをホワイトハウスが要請したことや、米上院がDACA・国境警備に関する超党派提案を否決したこともあって、ドル円は安値を更新してクローズ。株高・米金利上昇の中にあってもドル安の流れとなっており、本日もその流れは継続か。105円台を視野に臨みたい。

東京	東京時間のドル円は106.56レベルでオープン。日経平均株価が前営業日比+200円超で寄り付く中、仲値にかけて一時106.88まで上昇する場面が見られたものの、引き続き上値の重い状況は不変。麻生財務相より特別に介入が必要なほどの水準ではない」とのコメントが伝わったこともあって徐々に水準を切り下げる展開となり、下値を更新し続けて一時106.30まで下落した。午後に入り、米10年金利が2.92%を超える動きとなるもドル円の反応は鈍く、106円台半ばでの推移が続き、106.49レベルで海外市場に渡った。豪ドルは0.7929レベルで東京時間オープン。発表された豪1月雇用統計において、ヘッドラインはほぼ予想通りの結果となったものの、フルタイム就業者数が減少したことを受けて一時0.7902まで下落。しかし、すぐに下げ幅を取り戻すと前日海外時間から続くドル売りの流れの中で底堅い値動きとなり、0.7940レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は106.49レベルでオープン。本邦政府関係者の話として、日銀総裁と副総裁2人の人事案が16日午前に関催される議院運営委員会理事会上に提出され、黒田総裁再任の方針が示されるとのヘッドラインが伝わると、緩和政策の継続性を意識した円売りが優勢となり、106.80まで上昇。106.62レベルでNYに渡った。ユーロは1.2461レベルでオープン後、欧州系の買いが入り1.2510まで堅調に推移。その後、ユーロ圏12月貿易収支が254億ユーロの黒字(予想:270億ユーロの黒字、前回:263億ユーロの黒字)となり、前年比縮小が示されると、やや反落して1.2477レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 山本)
ニューヨーク	海外市場のドル円は欧州序盤にドル売りが強まり一時106.18まで下落したが、ユーロが直近高値1.2510を明確に上抜けることができず反落する動きに、ドル買い戻しの流れが強まったことからドル円は106円台後半まで反発し、106.62レベルでNYオープン。予想比強めの米1月PPIを好感し、ドル円は発表直後に106.68まで上昇したが、米金利低下を横目に106.20まで下落。その後、海外時間安値106.18を下抜けることはなく上昇に転じる中、NY時間正午頃に報じられた「黒田日銀総裁の再任、副総裁に両宮・若田氏案を政府検討」とのヘッドラインに反応して106.85まで急伸。しかし、海外時間につけた本日高値106.88を上抜けることはできず、堅調な株や原油相場を横目にドル売りが強まる中、米上院にて移民政策に関する提案をすべて否決とのヘッドラインも見られ、ドル円もじりじりと値を下げて本日安値となる106.03まで下落した。その後は106.10近辺で方向感なく推移し、106.11レベルでクローズした。一方、1.2477レベルでNYオープンしたユーロは、米金利低下を横目に1.2506まで上昇。しかし、日銀人事報道後に対円でのドル買いの動きに引っ張られる形で1.2458まで下落。その後、リスクオン地合の中で上昇に転じ、再び1.25台を回復するも高値は1.2509と海外時間につけた本日高値1.2510を更新するには至らず、1.2506レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:岡本・西谷